

Q1 文系出身でも情報学やデータサイエンスを学ぶことはできますか？

はい。情報学やデータサイエンスの基礎となるのは数学の知識ですが、本学部では文系出身で数学IIIを学んでいない方や、理系出身であっても苦手だった方向への「入門数学」という科目を用意していますので安心して学ぶことができます。

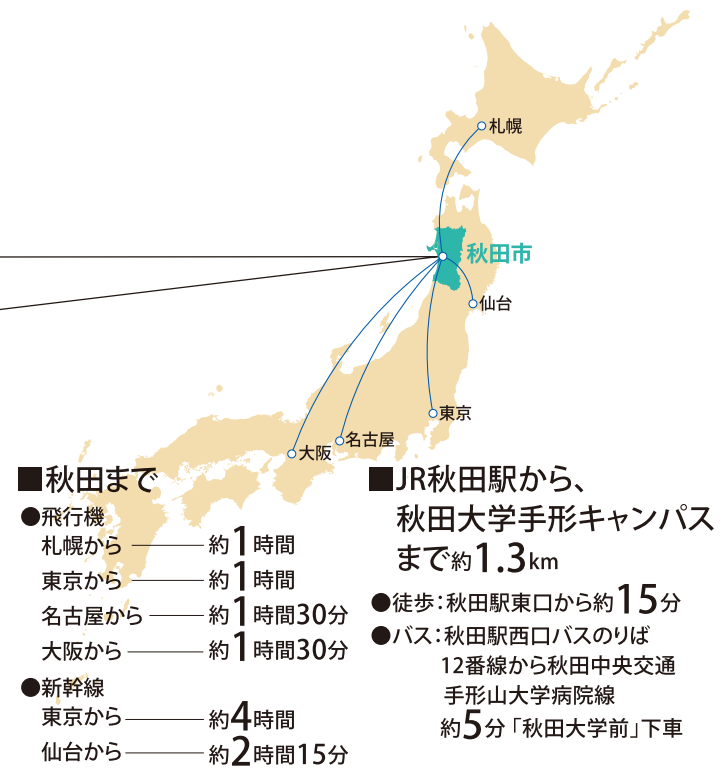
Q2 学科やコース等の編成はどうなっていますか？

本学部には、情報データ科学科の1学科を置き、その下にコース等を設けない編成になっています。1～2年次までは、入学者全員が1つのクラスで情報学やデータサイエンスを体系的に学び、3年進級時に自らの志向でこれらに応用する分野を選択し、4年次からは各研究室で卒業研究を行います。

Q3 どのような資格などを取得できますか？

所定の科目を履修することで、高等学校教諭第一種免許状(情報)を取得することができます。また、ITに関する基本的な知識を証明できる国家試験(ITパスポート試験や基本情報技術者試験など)にも挑戦することができます。

アクセス



国立大学法人 秋田大学
情報データ科学部
 Faculty of Informatics and Data Science
 AKITA UNIVERSITY

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
 Tel: 018-889-2268
 E-mail: ds_somu@jimu.akita-u.ac.jp
<https://informatics.akita-u.ac.jp/>



国立大学法人 秋田大学 情報データ科学部 2027

Faculty of Informatics and Data Science Akita University

デジタル社会で活躍するITエンジニアや
 データサイエンティストを育成します！



情報データ科学部が目指すもの



情報データ科学部学部長
長縄 明大 Naganawa Akihiro

AI、IoT、ビッグデータ、ロボットなどのデジタル技術は、私たちの社会を大きく変えています。こうした技術は、ものづくりやサービスの分野だけでなく、医療や福祉、環境、防災・エネルギー、観光など、さまざまな場面で活用されるようになってきました。これからの社会では、デジタル技術をただ使うだけではなく、情報やデータを正しく読み取り、課題を見つけ、より良い形で社会に役立てていく力がますます大切になります。

情報データ科学部は、このような時代に必要とされる人材を育てるために、2025年4月に秋田大学の5つ目の学部としてスタートしました。本学部では、情報やデータを活用して新しい価値を生み出し、地域や社会の課題解決に取り組むことのできる人材の育成を目指しています。また、教育だけでなく、AIも活用しながらデジタル技術を高度化し、それらを広く社会で生かすための研究にも力を入れています。

本学部の大きな特色は、人と人、人と社会をつなぐ情報技術と、さまざまなデータから新しい価値を見いだすデータサイエンスを体系的に学べることです。さらに、AIや画像解析、XR(クロスリアリティ)、ビッグデータ解析に加え、知能ロボティクス(フィジカルAI)といった先端分野にもふれながら、最新のデジタル技術を現実の社会で活用していくための知識やスキルを身に付けていきます。情報やデータを集める、分析する、仕組みをつくる、社会で役立てる、さらに人の暮らしを支える技術へと広げていく、という流れを幅広く学べるのが本学部の魅力です。学んだ知識を、実際の人々の暮らしや地域社会につながる形へ広げていけることが、本学部の学びの面白さです。

また、本学部は、理系の皆さんはもちろん、文系の皆さんにも開かれた学部です。これからの社会では、デジタル技術の知識だけでなく、人や社会への理解や、物事を多面的に考える力もとても重要になります。さまざまな興味や得意分野をもつ仲間とともに学ぶことで、新しい発見や発想が生まれ、自分の可能性も大きく広がっていくはずです。秋田には、豊かな自然と落ち着いた学びの環境があります。そして同時に、地域ならではの課題もありますが、これからの社会をより良くしていくための多くの可能性があります。そうした環境の中で学ぶことは、デジタル技術を社会や地域にどう役立てていくかを考える上で、とても貴重な経験になります。

皆さんもぜひ、情報データ科学部で新しい学びに挑戦してみてください。ここでの学びを通して、自分の未来を切り拓くとともに、先端技術を生かしながら、これからの社会に新しい価値を生み出す力を身に付けてほしいと思います。

ロゴマークについて



本学部のロゴマークは、デジタル(D)を基盤に、情報学・データサイエンス(ID: Informatics and Data Science)を中心として、「人間情報」「データサイエンス」「知能ロボティクス」という3つの学びがつながりながら、新しい価値を生み出していく姿を表しています。

カラーは、スクールカラーの「緑色」、学章に用いられる「藍色」に加え、知性と挑戦を象徴する「紫色」を取り入れ、未来へ広がるグラデーションで表現しました。

本学部が、最先端のデジタル技術を通して社会の課題に挑み、新しい時代を切り開く人材を育てていくという思いを込めています。

情報学とは

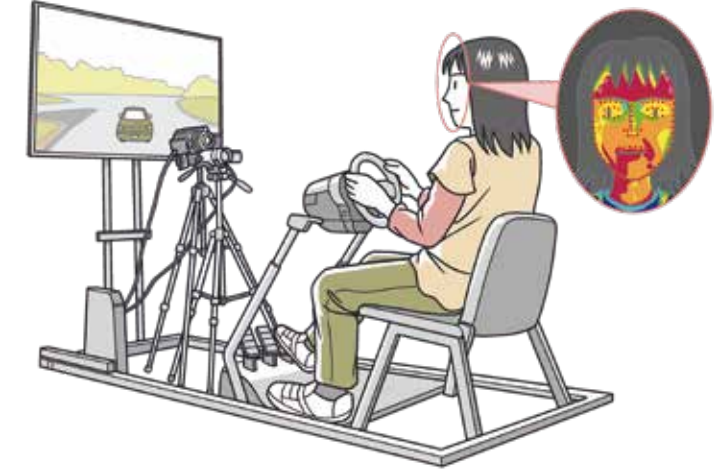
情報学とは、情報の収集、処理、分析、伝達、活用に関する学問であり、コンピュータサイエンス(計算機科学)を中心に、数学、統計学、心理学、社会学、さらには経済学など多くの分野と密接に関係しています。

情報学の身近な例として、スマートフォンを考えてみましょう。例えば、検索エンジンでは、インターネット上の膨大な情報の中から必要なものを検索することができますし、地図アプリでは、GPSデータを利用して現在地を特定し、目的地までの最適なルートを計算することができます。さらに、指紋認証や顔認証の技術は、不正アクセスを防ぎ、安全にデバイスを使用することができます。加えて、暗号化技術によって、スマートフォンに保存されている個人情報が守られています。

情報学を学ぶことで、データを正しく理解し、適切に活用する能力を身につけることができます。将来的には、情報技術を活かして新しいサービスを生み出したり、社会の課題を解決したりすることが可能になります。情報学は、科学技術の発展を支えるだけでなく、私たちの生活をより便利で豊かにすることができる学問です。



交通事故防止等シミュレータ

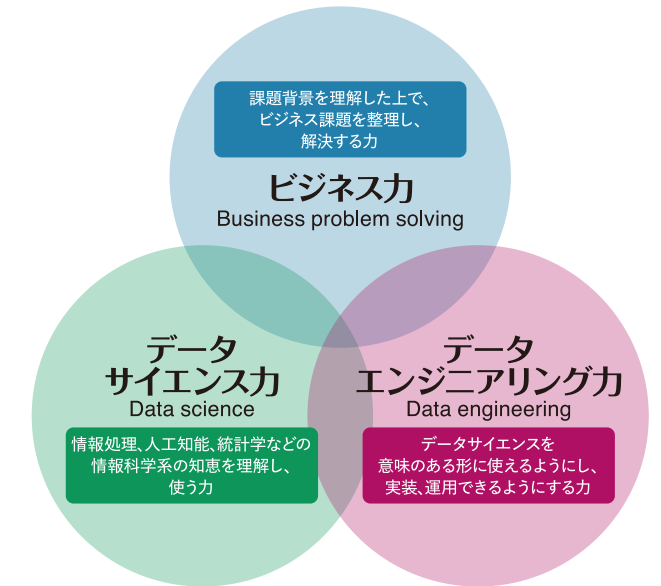


可視画像と熱赤外画像を用いたeスポーツ実施時における感情推定

データ科学(データサイエンス)とは

データサイエンスとは、大量のデータ(ビッグデータ)から価値のある情報を引き出す学問です。言い換えると、データを使って未来を予測したり、よりよい選択をするための方法を考える学問です。例えば、動画視聴サービスでは、ユーザの過去の視聴履歴を分析して、「このユーザはこんな動画が好きそうだ」と予測することで、おすすめの動画を表示してくれます。データサイエンスを実際に活用する専門家を「データサイエンティスト」と呼びます。データサイエンティストが活躍するためには、主に「ビジネス力」「データサイエンス力」「データエンジニアリング力」が必要とされています。情報データ科学部では、データサイエンス・情報学について体系的に学ぶことができます。

データサイエンスは、私たちの生活のあらゆる場面で活躍しています。将来、データをうまく活用する能力はますます重要になっていくでしょう。



出典:一般社団法人データサイエンティスト協会



ツアーガイドナビゲーション



医療診断支援

養成する人材像

情報学とデータサイエンスを体系的に学び、身に付けた情報技術の知識とデータ解析スキルを活用して諸課題の解決を図り、新たな価値を創造し実装することができるデジタル人材を養成します。

学びの特色

本学部は「情報データ科学科」の1学科編成であり、「情報学・データサイエンス」を「専門」として身に付けられる教育課程には、以下の3つの学びの特色があります。

01 情報学・データサイエンスの体系的な学び

教育課程は、高等学校で学んだ「情報I」とのつながりを持たせ、情報学・データサイエンスに関する知識や技能を基礎から身に付けるため体系的なものになっています。

概要として、入学時からデジタルデータを扱う技術の基礎となる「コンピュータサイエンス系科目」や「ネットワーク系科目」、人と情報技術の関わり等を扱う「人間情報学」のコアとなる科目、取得したデータを解析し新たな価値を見出すために必要な「データサイエンス系科目」を学びます。

02 アントレプレナーシップの養成

アントレプレナーシップとは、急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出す精神です。本学部では、この素養を身に付けるため、基礎教育科目では、数学に加えて、卒業後、社会に出てから必要になる「デジタル社会と企業経営基礎」、「e-ビジネス基礎」等の「社会科学」の基礎を学びます。

また、「デジタル社会PBL科目」では、社会で活用されているデジタル技術を学ぶ授業や実験等に加え、オープンデータや地元企業等における現場のデータ等をもとに、企業人材等と一緒に諸課題を解決し、実践力を身に付ける課題解決型授業を設定しています。

03 情報学・データサイエンスを応用する分野に関する教育

情報学・データサイエンスを応用する分野として、人を中心とする情報技術に関する「人間情報系科目」、安心・安全な地域づくりに関する「防災・エネルギー情報系科目」に加え、人間の日常生活における動作支援に関する「知能ロボティクス系科目」の3つの科目群を用意しています。

学生は、3年次進級時に自らの志向に合わせて応用分野の授業科目を選択履修し、4年次では3年次までに学んだ知識や技術を活用して新たな価値を実装する「卒業研究」を行います。

教育プログラムの認定について

本学部の教育プログラムは、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」により認定されています。

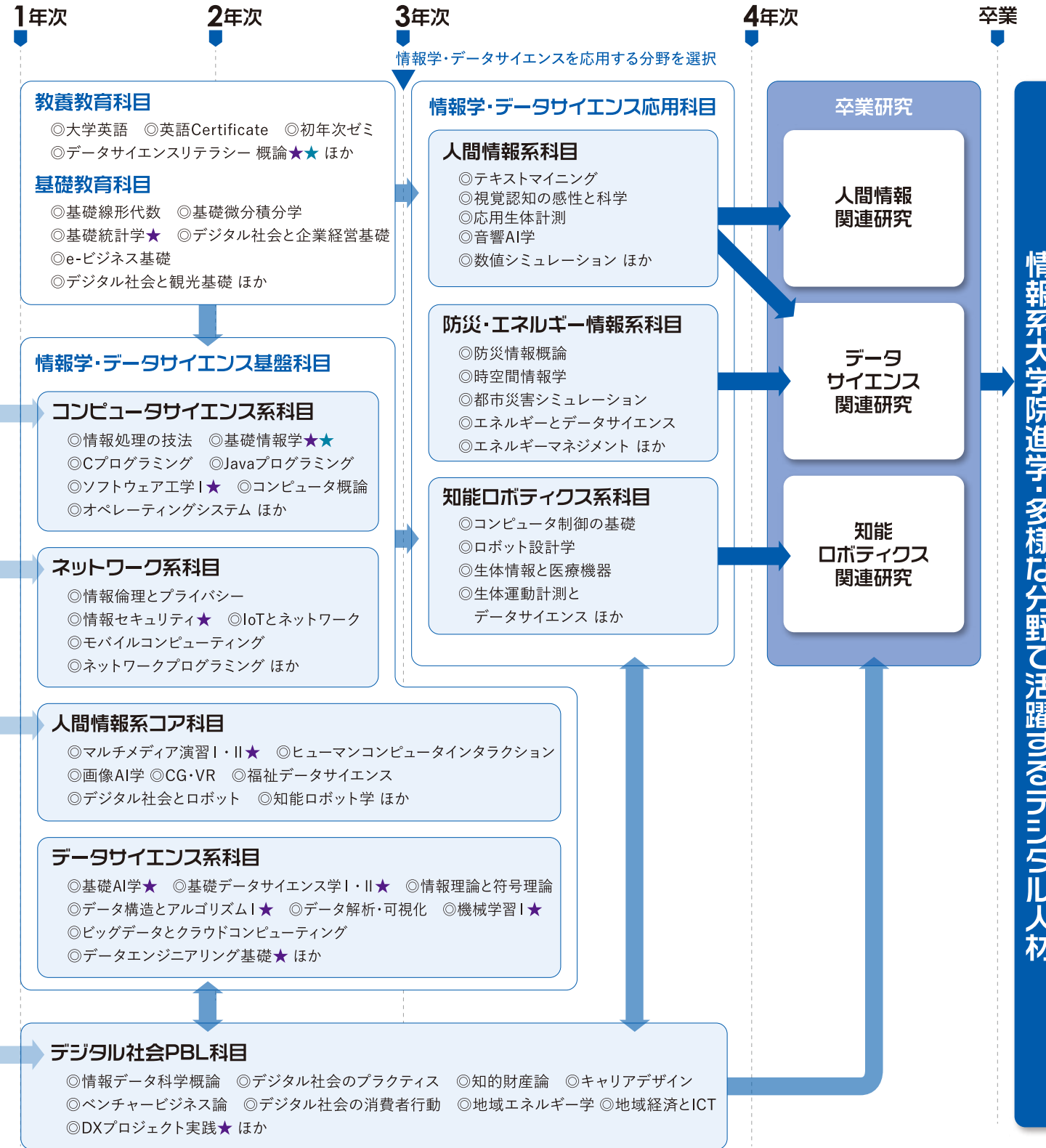
リテラシーレベル(図中★の科目)は、「秋田大学地域におけるDX推進プログラム」として、秋田大学に入学する全学生が取り組むプログラムであり、デジタル社会を生きるための基礎として、初級レベルの数理・データサイエンス・AIを身に付けます。

一方、応用基礎レベル(図中★の科目)は、「デジタルイノベーション実践教育プログラム」として、自らの専門分野において数理・データサイエンス・AIを応用・活用できる力を養うもので、情報データ科学部はこのレベルについても認定を受けています。

本学部では、2029(令和11)年に設置予定の「情報系大学院」への接続を見据え、データサイエンス・AIを駆使してイノベーションを創出し、世界で活躍できるエキスパート人材の育成を目指しています。



教育課程の概要



取得できる資格と受験可能な試験

高等学校教諭一種免許状(情報)

その他、ITパスポート試験や基本情報技術者試験などにも挑戦することができます。

人間情報系
HUMAN CENTERED COMPUTING

水戸部一孝教授の研究

ハイパーサーミアと人の行動のデジタル化の研究



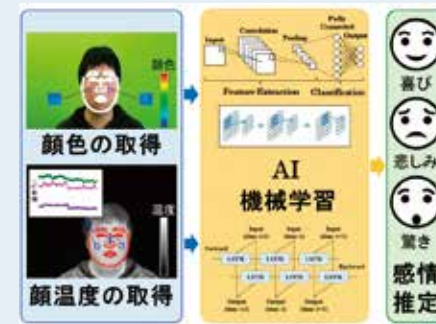
生体を透過する磁場を利用して低侵襲的に体内の悪性腫瘍を一定温度に加熱する磁気ハイパーサーミア、名医の手術等の巧緻動作を1/100mmの分解能でデジタル化する磁気式モーションキャプチャ等の開発を進めています。

また、高齢者の移動行動をデジタル化する各種XRシミュレータを開発すると共に、データサイエンスの手法で交通事故リスクを推定する等、高齢化を先取りした秋田県を舞台に医療と福祉分野に貢献する新たな情報技術を研究しています。



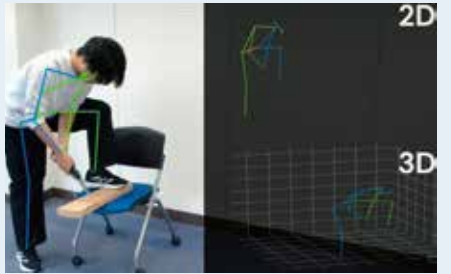
景山陽一教授の研究

ヒューマンセンシング:デジタル技術で人の気持ちや行動を理解する



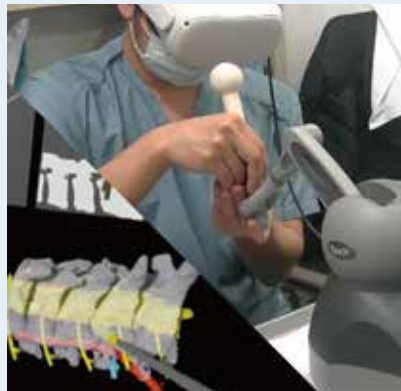
顔における色情報や温度、部位の動き情報などに着目して、人の気持ちや体調、行動を推定するデジタル技術を検討しています。例えば、eスポーツをしている高齢者の感情を推定したり、デジタルコンテンツを視聴している人の関心度を推定したりする技術の開発を行っています。

また、体の動きから骨格情報を抽出し、人の行動を推定する技術を検討しています。建設現場などでは、対象者の身体の一部がカメラに映らない場合がありますが、AIを用いた骨格情報の補完が可能です。



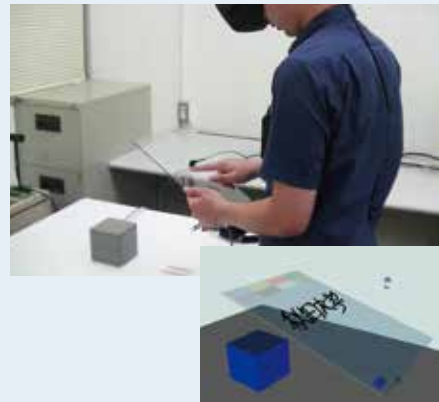
藤原克哉教授の研究

VRによる手技訓練シミュレータ開発・AI解析による健康長寿アプリ開発



精緻な手技が要求される整形外科手術を訓練できるシミュレータシステムを開発しています。力触覚のVR技術により仮想空間にある骨や組織に手術器具で触れている感覚を手に感じながら繰り返し訓練でき、本来見えない骨の内部を透過させることもできます。

また、人の手の巧緻な動きをAI解析する研究を推進しています。字を書くような日常動作から身体・認知機能の衰えを検出して軽度認知障害(MCI)などの早期発見にも活用できます。



石沢千佳子教授の研究

心の入り口ー視線の動きや色の見えーを科学し人に寄り添う技術を生む



目の動きは、その人の心理や興味関心を示すことがわかっています。そこで、視線の動きを計測して、その人が関心を寄せているものを検出する手法や、検出された結果を、デジタル技術を使って活用する研究をしています。

また、異なる2つの色が高速で切り替わると、人は混じり合った色を認知します。この視覚特性を利用し、高速に画像を入れ替えて混色させて「透かし」を見えないようにする手法を研究しています。その他にも、様々な条件下で色の見え方を計測して、ユニバーサルデザインなどに活用する研究もしています。



有川正俊教授の研究

地域データ駆動型エコシステムを支える次世代空間情報サービスの研究開発



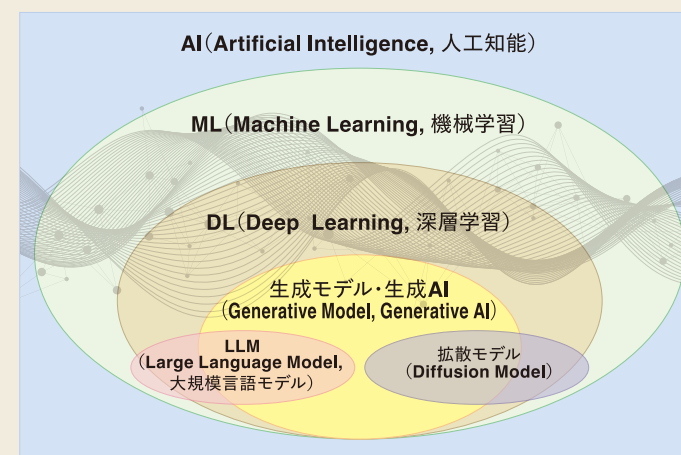
人と空間の関係に注目した空間情報学の研究を行っています。人間は進化の過程で空間把握能力を発達させ、地図を通じて実空間情報を記号化・物質化し、共有してきました。コンピュータ技術の進展により、実空間情報のデータモデル化や未来シミュレーションが高度化し、現実世界の活動を支える技術も発展しています。

人と空間をつなぐ「空間コミュニケーションITツール」を開発し、地域観光、生涯学習、健康管理に社会実装することで、地域データ駆動型エコシステムの実現をめざしています。



豆知識

AI(人工知能)について



人工知能(AI)とは、人間の知的な働きをコンピュータで再現する技術です。その中核となるのが機械学習であり、大量のデータを解析し、ルールを自動的に学習する手法です。さらに、機械学習の一分野であるディープラーニング(DL)は、人間の脳の神経回路を模した「ニューラルネットワーク」を活用し、画像認識や音声認識などで高い精度を発揮します。

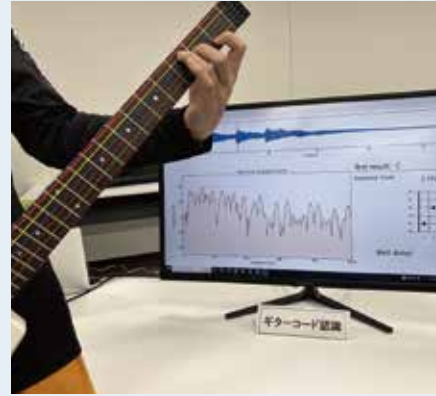
近年注目されている生成AIは、ディープラーニングを応用し、新しい文章・画像・音楽などを生成する技術で、ChatGPTや画像生成AIがその代表例です。これらの技術は、ビジネス、医療、エンタメなど多くの分野で活用され、今後さらに発展が期待されています。

田中元志教授の研究

人の活動音および生体信号の解析・処理とその応用



人の活動と関連する音や生体信号を解析、処理し、それを利用したシステム開発に関する研究を行っています。具体的には、人の生活活動に伴う音から家庭内事故等を検出する方法、足音から歩行者を識別する方法、楽器演奏音の音符認識などについて検討しています。また、人がどのように感じているか、どうしたいか、などの主観的判断・評価(主観量)、どんな状態か、などを、脳波、心電図などの生体信号から客観的に検出(推定)する方法を検討しています。
[左写真]照明空間での脳波と心電図の測定
[右写真]楽器音の解析



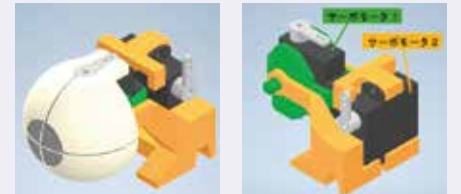
知能ロボティクス系 INTELLIGENT ROBOTICS

長縄明大教授の研究

人間の日常生活を支援するロボット技術に関する研究



人間の日常生活を支援するために必要な制御技術、ロボティクス、医用システム等に関する研究を行っています。左の図は、アーム型ロボットを遠隔操作する様子であり、都市部と過疎地をつなぐオンライン診療で活用することを想定した制御技術を研究しています。また、右の図は、健側の目の動きと同調して動かすことができる眼球運動装置の動作試験の様子を示しており、眼窩部を欠損した方に使用して頂けるよう装置の開発を進めています。



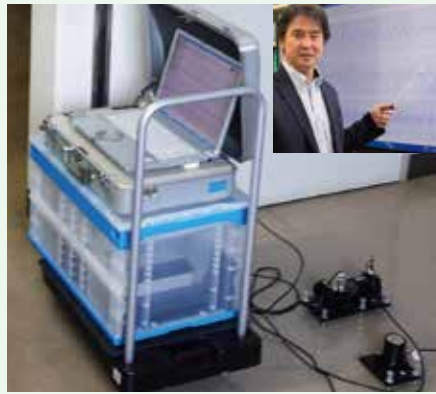
眼球運動機構の正面図

眼球運動機構の背面図

データサイエンス系 DATA SCIENCE

水田敏彦教授の研究

データを活用した都市の地震防災・減災に関する研究

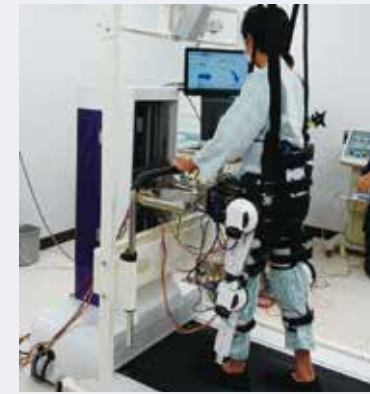


地震災害から人や街を守るための研究をおこなっています。研究の主な内容は、過去に発生した地震の被害に関する文献調査、地震による地面の揺れ方の観測(地震や常時微動の観測)、これら調査・観測を基にした、地震防災・減災のための災害メカニズムの解明と都市の災害危険度評価をおこなっています。
また、デジタル技術を活用してリアルタイムデータによる災害情報把握と対応の迅速化に関する研究開発も行っています。
[左写真]観測装置とリアルタイム地震情報
[右写真]過去の地震被害データ



巖見武裕教授の研究

障がい者の運動機能を再建するための研究とロボット工学への応用



バイオメカニクス、ロボット工学をベースとした医用生体工学を専門としています。研究室ではモデル解析による生体シミュレーション、医療用アシストロボットの開発に取り組んでいます。
アシストロボットの制御では、シミュレーション環境で患者の運動アシストを行い、フィードバックを受けることで、機械学習アルゴリズムをトレーニングすることができます。これにより、患者の能力に合わせた安全で効果的なアシストを実現しています。



臼木智昭教授の研究

データで読み解く地域の課題・地域の経済



著名な経営学者のドラッカーは「マネジメント(経営学)とは教養である」と言っています。「教養」とは、ものごとを正しく捉えるための基礎的な知識のことです。
企業だけでなく、国や地方自治体といった公共部門など、さまざまな組織が抱える問題を、経営学の視点で捉え直し、統計情報やデータを活用して地域や社会がより良い方向に向かうための方策について、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



豆知識

ハルシネーションについて



ハルシネーションとは、本来存在しない情報をAIが作り出してしまふ現象のことです。例えば、AIに「2050年のノーベル賞受賞者は？」と聞いたとき、本当の情報が学習データにない場合、AIはそれらしい名前や説明を偽造することがあります。
これは、AIが「わからない」と答えるのではなく、学習したデータからもっともらしい答えを作ろうとするために起こります。特に、生成AIでは、文章や画像を作り出す過程で誤った情報が混ざることがあります。利用する際には、AIの回答をそのまま信じず、信頼できる情報源と照らし合わせ、正しい情報かどうかを確認することが大切です。

情報データ科学部教員紹介

人間情報系 HUMAN CENTERED COMPUTING



教授
水戸部 一孝
Mitobe Kazutaka
◎サイバースペース
◎ヒューマンコンピュータインタラクション



教授
景山 陽一
Kageyama Yoichi
◎ヒューマンセンシング
◎機械学習



教授
石沢 千佳子
Ishizawa Chikako
◎知覚情報処理
◎ログ情報の取得・解析



教授
藤原 克哉
Fujiwara Katsuya
◎遠隔支援システム
◎ソフトウェア設計



教授
田中 元志
Tanaka Motoshi
◎信号処理
◎環境電磁工学



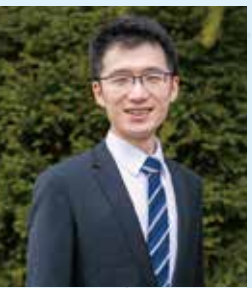
准教授
横山 洋之
Yokoyama Hiroshi
◎VLSI故障検査
◎CG



准教授
中島 佐和子
Nakajima Sawako
◎福祉情報工学
◎ヒューマンインターフェース



講師
白井 光
Shirai Hikaru
◎リモートセンシング
◎機械学習

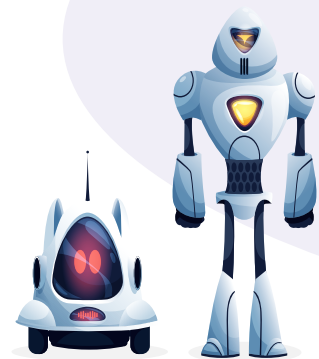


助教
雲 河晨
Yun Hechen
◎行動解析
◎機械学習



助教
菊地 亮太
Kikuchi Ryota
◎画像処理
◎機械学習

知能ロボティクス系 INTELLIGENT ROBOTICS



教授
長縄 明大
Naganawa Akihiro
◎制御工学
◎医用工学



教授
巖見 武裕
Iwami Takehiro
◎バイオメカニクス
◎医用生体工学



准教授
佐々木 芳宏
Sasaki Yoshihiro
◎アクチュエータ工学
◎福祉工学



講師
関 健史
Seki Takeshi
◎光医療工学
◎生体計測



講師
南斉 俊佑
Nansai Shunsuke
◎ロボット工学
◎制御工学

データサイエンス系 DATA SCIENCE



教授
有川 正俊
Arikawa Masatoshi
◎空間情報学
◎地理情報システム



講師
陸 恣
Lu Min
◎ユビキタス・マッピング
◎学習支援システム



教授
水田 敏彦
Mizuta Toshihiko
◎防災工学
◎災害情報学



助教
内海 富博
Utsumi Tomihito
◎組み込みシステム
◎IoT



助教
佐々木 一織
Sasaki Iori
◎モバイルビッグデータ
◎位置情報サービス



准教授
古林 敬顕
Furubayashi Takaaki
◎エネルギーフロー
◎持続可能システム



講師
門廻 充侍
Seto Shuji
◎災害関連情報の解析
◎デジタル支援



教授
伊藤 慎一
Ito Shinichi
◎消費者行動
◎知的財産



教授
白木 智昭
Usuki Tomoaki
◎経営学
◎地域経営



准教授
高橋 環太郎
Takahashi Kantaro
◎観光学
◎経済地理学



講師
熊丸 博隆
Kumamaru Hirotaka
◎環境経済学
◎循環型社会システム



Message from Seniors



本間 雅悠さん
情報データ科学部2年次
秋田県出身

1週間の過ごし方(1年次第2クォーター)

	月	火	水	木	金
1・2時限 (8:50～10:20)		基礎微積分学Ⅱ			基礎線形代数Ⅱ
3・4時限 (10:30～12:00)	大学英語Ⅱ	スポーツ実技Ⅰ-2	地域エネルギー学	大学英語Ⅱ	課題
5・6時限 (12:50～14:20)		初年次ゼミⅡ			
7・8時限 (14:30～16:00)		Cプログラミング	秋田の再生可能エネルギー	課題	ボランティア活動 (吹奏楽指導)
9・10時限 (16:10～17:40)	基礎AI学	Cプログラミング	教育原論	課題	ボランティア活動 (吹奏楽指導)
授業終了後	サークル活動 (書道研究会)	課題	サークル活動 (書道研究会)	課題	ボランティア活動 (吹奏楽指導)

情報データ科学部を選んだ理由は？

科学の甲子園全国大会に出場した際、少し興味があるという理由で情報分野を担当して大会に参加したのですが、全国の高校生と交流する中で多くの刺激を受け、情報技術やプログラミングに対する関心が高まりました。このため、この分野について詳しく学びたいと決意し、受験しました。



情報データ科学部の魅力やアドバイスを

大学での生活や授業内容など不安なことが多くありましたが、先生方や先輩方のサポートも厚く、いつでも相談できるので、安心して学ぶことができています。また、大学生活には新たな出会いや発見が溢れていて、仲間と互いに高め合いながら楽しく勉強しています。ぜひ、私たちと一緒に情報学やデータ科学を学びましょう！

将来の夢(就きたい仕事)は？

今は自動運転の技術に興味をもっています。自動車の自動運転技術はよくニュースなどで目にしますが、その技術を農業や除雪などに応用することで、高齢化が進む中でも秋田の特徴を活かし、さらに便利で暮らしやすい社会を創っていきたくと考えています。



初年次ゼミのグループ発表で新しいITサービスのアイデアをまとめました



初年次ゼミの中で図書館の利用方法についてガイダンスを受けている様子です

Message from Seniors



籠山 由梨さん
情報データ科学部2年次
秋田県出身

1週間の過ごし方(1年次第3クォーター)

	月	火	水	木	金
1・2時限 (8:50～10:20)	通学(電車)	基礎微積分学Ⅲ	基礎統計学	通学(電車)	基礎線形代数Ⅲ
3・4時限 (10:30～12:00)	大学英語Ⅲ	コンピュータの科学Ⅰ (オンデマンド)	情報データ科学概論Ⅰ	大学英語Ⅲ	
5・6時限 (12:50～14:20)	(課題)		(課題・友達とご飯)	データ構造とアルゴリズムⅠ	
7・8時限 (14:30～16:00)	応用Cプログラミング	基礎データサイエンスⅠ (オンデマンド)			
9・10時限 (16:10～17:40)			教職概論		
授業終了後	バイト	部活動 (バレーボール)	部活動	バイト	部活動orバイト

情報データ科学部を選んだ理由は？

私は秋田県出身で、将来は地域に貢献できる仕事がしたいと考えていたので、情報を活用して課題解決に取り組むこの学部に興味を持ちました。高校に大学の方が説明に来てくださり、学部の学びや取り組みを知ったことで、自分の目指す将来に合っていると感じ、受験を決めました。



将来の夢(就きたい仕事)は？

将来は秋田に残り、地域の課題解決に携わる仕事に就きたいと考えています。特に情報技術を活用した地域活性化や行政サービスの向上に興味があり、データをもとにより良い社会を作ることに貢献したいと考えています。

情報データ科学部の魅力やアドバイスを

この学部では、実践的なデータ分析やプログラミングの学びを通して、地域や社会の課題に向き合う力を身に付けることができます。また、学生同士で相談し合い、互いに成長できる環境が整っています。プログラミングに不安があっても、先生方や先輩が丁寧に教えてくれるので心配はいりません。ぜひ私たちと一緒に学びませんか？



実験の風景1(PCの部品を確認している様子)※



実験の風景2(PCを組み立てている様子)※

※写真は、本学部の母体となっている理工学部人間情報工学コースで行っているものであり、情報データ科学部では2年次の科目として設定されています。

大学生の一日

◎興味・関心のある研究分野
VRやARを使った技術。
◎頑張っていること
情報系の学習の他に、英語にも力を入れています。また、絵を描くことが好きなので、漫画研究会に所属しています。

藤田 結衣菜さん



佐野 広空さん

◎興味・関心のある研究分野
ヒトを中心とした情報技術の活用。
◎頑張っていること
プログラミングや情報技術の仕組み、その活用について幅広く学んでいます。また、創作や卓球に励み、目標達成に向けて尽力しています。



8:00
通学



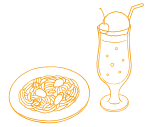
1限目は8:50からスタート！
今日も1日しっかりがんばります。



8:50
授業



1限目はプログラミングの授業。
昨日の夜に予習をしました。



日替わりメニューがたくさんあるから迷っちゃいます！



今日は大好きなハンバーグ定食！
リーズナブルでボリューム満点！

12:00
お昼休み



今日の昼食は友人と学食で取りました
昼食後も気合を入れて！



お昼休みは、友人たちとサークルの話などで盛り上がります。



12:50
午後の授業開始



忙しい毎日だからこそ
小さな積み重ねが大切です。



隙間時間で課題やレポート作成に取り組みます。

16:00
自主学習



図書館で借りたい書籍は、スマホで検索できます。



漫画同好会ではパソコンで漫画を描いたり、楽しい時間です！

17:00
サークル・帰宅

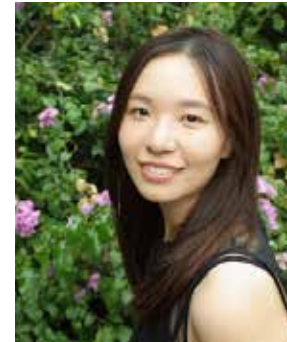


卓球部では週5日の練習。
すべてに参加する必要はなく、自分のペースで練習に励みます。

プロモーション動画は
コチラからご覧いただけます。
↓



卒業生からのメッセージ



彭 湘玲さん

アクセンチュア株式会社
インダストリー X本部
大学院理工学研究科
数理・電気電子情報学専攻
人間情報工学コース
博士前期課程 有川研究室
2022年修了

今の仕事内容を教えてください

アクセンチュアの製造業向けコンサルティングを担うインダストリー X本部に所属し、物流プロセスや倉庫管理の最適化に向けたシステム改善を提案しています。地理情報科学や空間情報工学などの専門知識を活かし、現場分析に基づく業務効率化やコスト削減に直結するソリューションの設計・提案を行っています。

現在の分野に進もうと思った動機は？

地理情報科学や空間データ分析を通じて現場の課題を可視化し、業務やコスト構造の最適化に貢献できる点に魅力を感じました。現場で得た知見をもとに、経営判断を支える橋渡し役を担いたいと考えました。

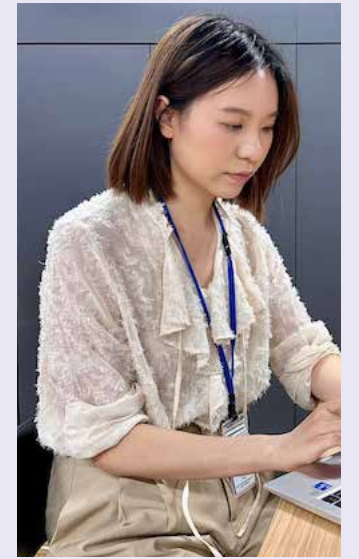
秋田大学での学びが、現在どのように生かされていますか？

在籍していた研究室では、鉱業博物館を対象とした屋内ARマッピングアプリの開発を通じ、地理情報科学や空間情報工学について実践的に学びました。物流や倉庫設計の分析において、空間情報を読み解く力は現在の業務に直結しています。また、「本質を見抜く力」や「協働する姿勢」は、クライアントや社内外との信頼構築において大きな基盤となっています。

秋田大学を希望している高校生(受験生)へメッセージをお願いします

秋田大学は、自分の「好き」や「興味」にじっくり向き合える場所です。先生方の温かなサポートのもと、自分のペースで着実に成長できます。自然に囲まれた静かな環境の中で、私は研究室と鉱業博物

館の間をよく散歩し、その途中の景色に癒されました。ここには、静かな情熱と向き合える時間があります。ぜひ、自分の可能性を信じて踏み出してください。



進路情報

2026年3月現在

学部卒業後の進路(学部4年生 35名)

就職先(民間企業) (9名)

- 秋田エプソン(株)
- 秋田DNライティング(株)
- (株)インターネットイニシアティブ
- 北日本コンピューターサービス(株)
- 竹田設計工業(株)
- (株)中電CTI
- (株)やさしい手
- (株)ライトカフェ U
- リコー ITソリューションズ(株)

就職先(公務員) (2名)

- 秋田市役所
- 妙高市役所

帰国(1名)

- マレーシア

秋田大学大学院進学(23名)

- 秋田大学大学院理工学研究科(20名)
- 秋田大学大学院先進ヘルスケア工学院(3名)

大学院修了後の進路(大学院2年生 21名)

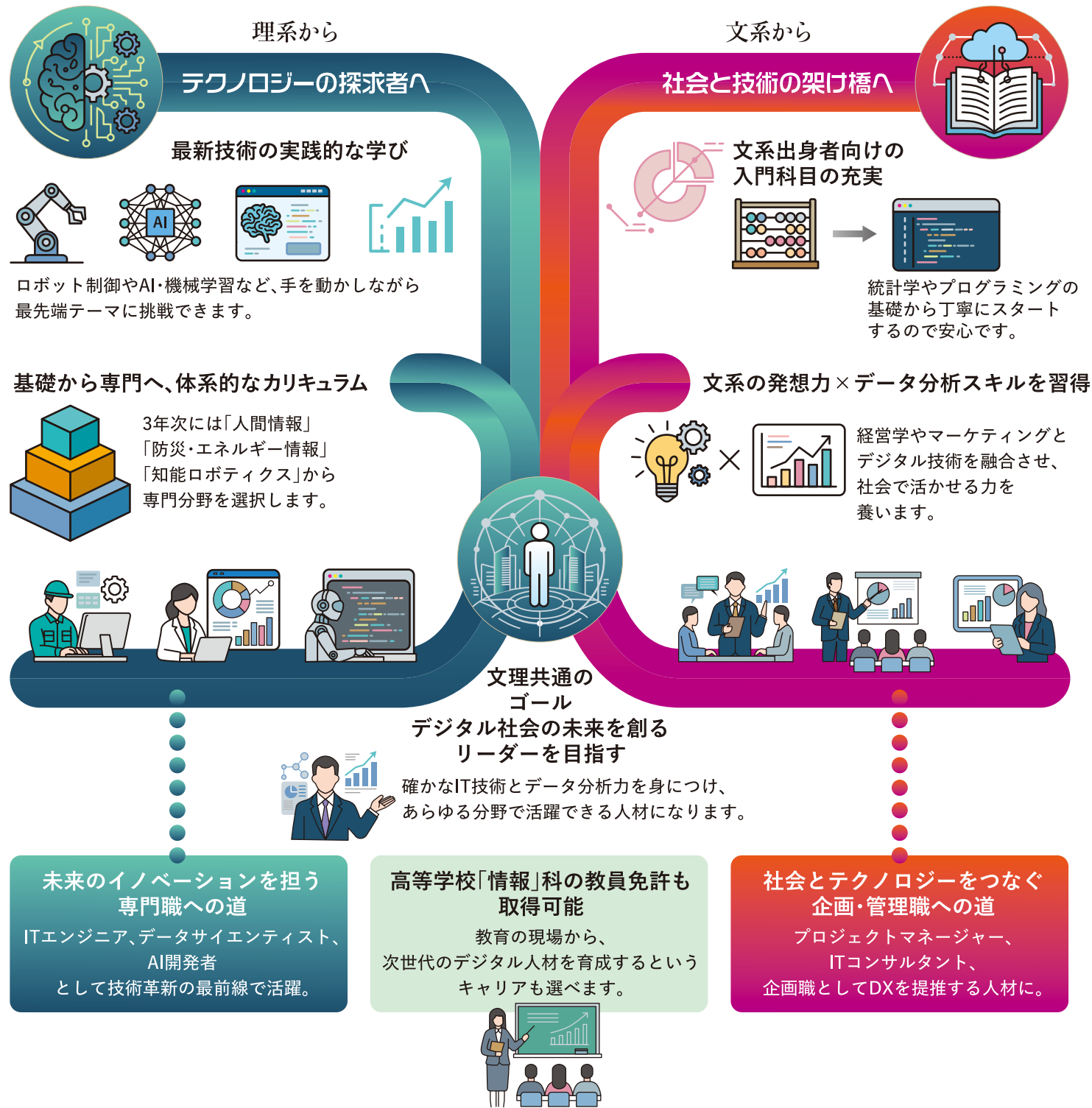
就職先(民間企業) (21名)

- アクセンチュア(株)(2名)
- (株)アシスト
- Astemo(株)
- H.U.グループホールディングス(株)
- (株)荏原製作所
- キオクシア岩手(株)
- (株)国際電気
- (株)ジェイテクトIT開発センター秋田
- 東京エレクトロン(株)
- 東芝デジタルソリューションズ(株)
- (2026年4月より(株)東芝)
- 東芝テック(株)
- 東北電力ネットワーク(株)
- TOPPANホールディングス(株)
- 日揮(株)
- 日鉄ソリューションズ東日本(株)(2名)
- 日本光電工業(株)
- 東日本電信電話(株)(NTT東日本)
- マツダ(株)
- リコー ITソリューションズ(株)

※上記は情報データ科学部の母体となった情報系コースの2025年度実績

大学卒業後・大学院修了後のキャリア

文系も理系も、デジタル社会の未来を創る人材へ



主な職種・業種の一例

ITエンジニア

- ◎情報サービス業
- ◎情報通信機器開発
- ◎組込みシステム設計開発
- ◎企業等のIT関連研究職

システムエンジニア

- ◎ロボット・輸送用機器・各種機械等の製造業
- ◎医療・介護機器のシステム開発者

データサイエンティスト

- ◎官公庁(公務員)
- ◎金融・保険分野
- ◎防災・エネルギー分野

入試情報

募集定員

入試区分	募集人員	
特別入試	総合型選抜I(文系・理系)	20
	総合型選抜II(文系・理系)※	10
一般選抜	前期日程 a(文系・理系)	35
	後期日程(理系)※	25
	後期日程(理系)※	10
私費外国人留学生入試	若干名	
国際バカロレア入試	若干名	
計	100	

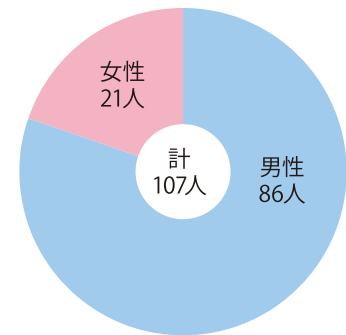
※大学入学共通テストを課す入試

2025年度 入学試験実施状況

入試区分	志願者数	入学者数	
特別入試	総合型選抜I(文系・理系)	42	26
	総合型選抜II(文系・理系)※	16	10
一般選抜	前期日程 a(文系・理系)	103	37
	後期日程(理系)※	71	21
	後期日程(理系)※	95	11
私費外国人留学生入試	14	1	
国際バカロレア入試	0	0	
計	341	106	

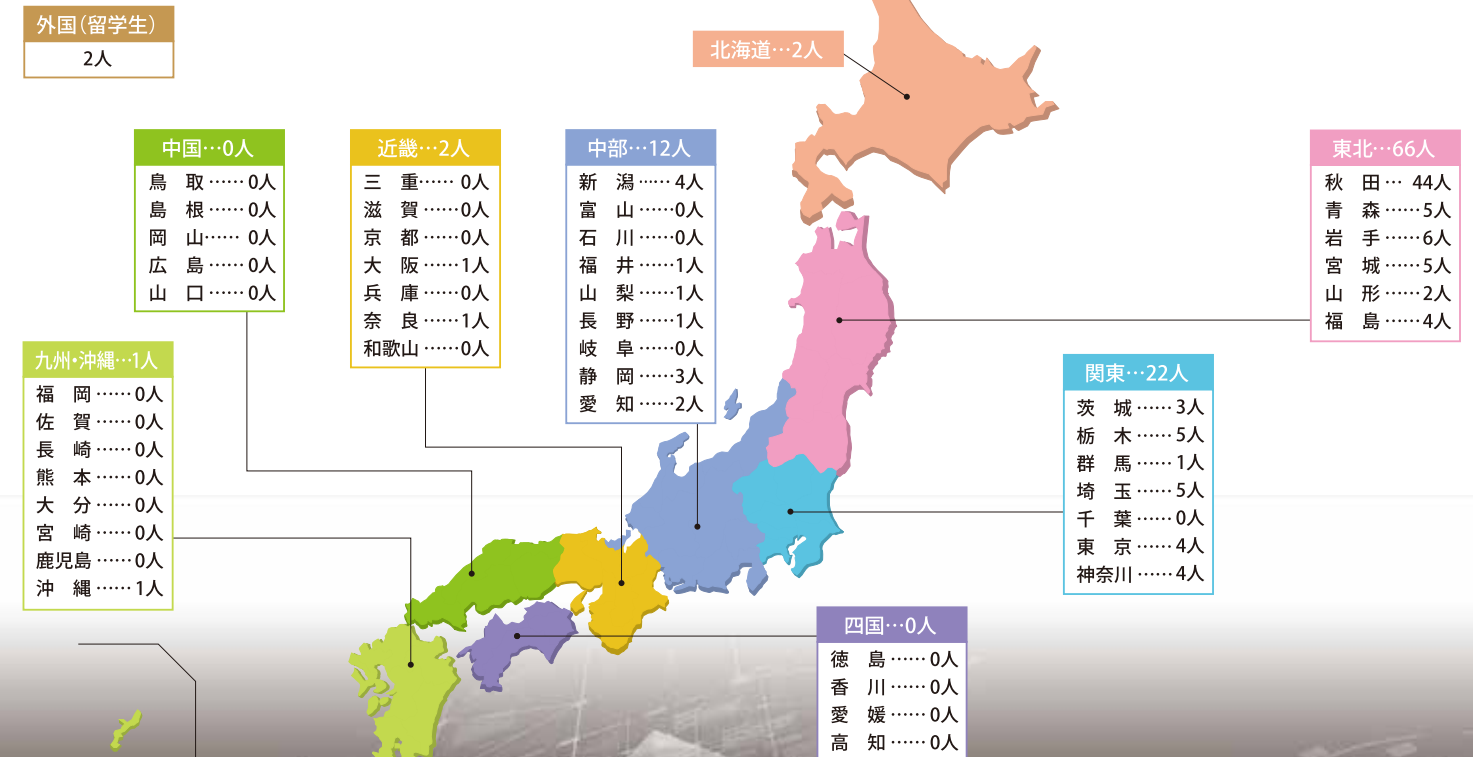
※大学入学共通テストを課す入試 ※別途マレーシア政府派遣の留学生1名

入学生男女比



都道府県別学生現員

出身高校・大学所在地別在学状況 ※2025年度入学者(107名)





4月 入学式

新入生が一堂に会し、入学式を行います。式の終了後、会場の外では学生サークル・部活動の先輩たちが新入生の勧誘を行い、賑わいます。



8月 竿燈体験

秋田大学には竿燈会という教職員を中心とした団体があります。学生の参加者も募集しており、秋田市竿燈まつりで伝統行事を体験することができます。



12月 プログラミングハッカソン

プログラミングに関する問題に個人で取り組み、時間や正解数を競い合います。スコア上位者は表彰を受けます。



7月 オープンキャンパス

手形・本道の両キャンパスを会場に、各学部の説明会や模擬授業、秋大生による研究室紹介など、秋田大学での学びの魅力を伝えるオープンキャンパスを毎年開催しています。キャンパスツアーや学食体験など、来場者の皆さんへ秋田大学のキャンパスライフを実感していただいています。



10月 秋田大学祭

「秋田大学祭」は、各学部の交流、また学生と教職員や地域住民との交流を深めることを目的として毎年実施し、学内外を問わず親しまれています。



3月 卒業式

学部と大学院の卒業生が社会への第一歩を踏み出します。式の終了後、会場の外では、卒業生がサークルの後輩や保護者などから祝福を受け、記念撮影や胴上げを行います。

■学費

		金額(円)		納付時期
入学科		282,000		入学手続時
授業料	年額 535,800	前期分	267,900	入学手続時または4月中
		後期分	267,900	10月中

※入学時・在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用になります。

◎高等教育の修学支援新制度(入学科・授業料の減免)

下記(◎日本学生支援機構奨学金●給付型奨学金)において採用された支援区分(多子世帯含む)に応じて、入学科及び授業料の全額、3分の2、3分の1が免除されます。

※なお、本制度に採用された多子世帯の方は、世帯収入によらず入学科及び授業料の全額が免除されます(一定の要件がありますのでご注意ください)

◎入学科徴収猶予

経済的理由により納付期限までに入学科の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、または入学前1年以内に、学資負担者の死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納付期限までに入学科の納付が困難であると認められる場合については、本人の願い出により選考の上、入学科の徴収を猶予する制度があります。

■給付型奨学金

◎日本学生支援機構奨学金

学業成績および人物ともに優れた学生で、経済的理由により修学が困難な学生のための奨学金制度があります。

●第一種奨学金(無利子)

貸与月額/自宅…2万円・3万円・4.5万円
自宅外…2万円・3万円・4万円・5.1万円

※家計基準によって選択できる月額が異なります。

※下記の給付型奨学金と併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与月額は併給調整(減額)されます。詳しくは日本学生支援機構ホームページで「給付型奨学金と併せて利用する第一種奨学金の貸与月額(併給調整)」をご確認ください。

●第二種奨学金(有利子)

貸与月額/2万円から12万円までの1万円単位から選択

●給付型奨学金

上記「学費」内の高等教育の修学支援新制度による入学科・授業料の免除と併せて受けられる、返還の必要がない奨学金です。世帯収入及び成績等の基準を満たした方は、支援を受けることができます。

なお、世帯収入によって給付金額が下記のいずれかに決定します。多子世帯の方で収入要件を満たさない方は、給付奨学金の方は受給できません。

自宅…29,200円・19,500円・9,800円・7,300円

自宅外…66,700円・44,500円・22,300円・16,700円

◎その他の奨学制度

地方公共団体および民間育英団体等が貸与・給付を実施する奨学制度があります。

■各種保険・共済制度

学生のみなさんが、安心して教育・研究活動を行い、充実した大学生活を過ごすために、秋田大学では下記のいずれかの保険・共済への全員加入を推奨しています。

●秋田大学取扱い

学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯学生生活総合保険

●秋田大学生協同組合取扱い

学生総合共済、学生賠償責任保険

■学業奨励金

本学では、秋田大学みらい創造基金の事業として、成績優秀者を表彰し、学業奨励金の給付を行います。

●対象者/卒業年次を除く学部学生

●被表彰者の決定/学業成績を重視し、人物を勘案して行われる各学部長からの推薦に基づき、被表彰者を決定する。

■学生寮

入寮募集については、学生募集要項をご覧ください。なお、申込方法等詳細については、大学ホームページでお知らせします。選考は経済的困窮度の高い世帯を優先し、家族数、通学状況(所要時間2時間以上等)を含めた家庭状況により行います。いずれの寮も食事の提供は行っておりません。

◎西谷地寮(男子学生向け)

居室は個室で机、椅子、ベッド、クローゼット、トイレ、浴室、ミニキッチン(IH)、冷蔵庫、エアコンを備え、共同設備として偶数階に洗濯室があります。手形キャンパスまでは徒歩15分です。本道キャンパスまでは自転車10分です。

- 定員:130名
- 寄宿費:月額20,000円
- 構造:鉄筋コンクリート6階建



◎手形寮(女子学生向け)

居室は個室で、机、椅子、本棚、ベッド、ロッカー、エアコンを備え、各階の共用施設として、補食室(シンク、ガスコンロ、冷蔵庫、電子レンジあり)、浴室、トイレ、洗面・洗濯室があります。手形キャンパスまでは徒歩5分、本道キャンパスまではバスで10分です。

- 定員:40名
- 寄宿費:月額5,300円
- 構造:鉄筋コンクリート3階建



◎本道寮(女子学生向け)

居室は個室で、机、椅子、ベッド、押入、タンス、ガスストーブ、エアコンのほか、キッチン・コンロ・冷蔵庫を備え、共用施設として、談話室、浴室、トイレ、洗濯室があります。手形キャンパスまではバスで10分、本道キャンパスまでは徒歩3分です。

- 定員:31名
- 寄宿費:月額6,900円
- 構造:鉄筋コンクリート6階建

